

—Hibanaのひいく!—

みんなで考えよう!

日本の森林のこと。エネルギーのこと。

第5章

なにが

大切!?



@hibana_kyoto

前回のつづき

間伐は「**太くてまっすぐの立派な木**」を
収穫するために**大切な世話のひとつ**であり、
間伐が行われなければ様々な問題が
引き起こされるので、間伐をしよう！
という意識が広がっています。



@hibana_kyoto

昔は間伐した商品価値の低い木も
貴重な資源でした。

家を建てる時の「足場」などとして
無駄なく利用されました。



画像出典：建築工房葎株式会社<https://wara3.jp/blog-entry-39/>

@hibana_kyoto

今は伐った木を山に放置して腐らせていることが多く、
もったいないし、山の環境によくないので
「間伐材を無駄なく使おう！」と
呼びかけられています。
「間伐材から作りました」という
商品も増えました。



@hibana_kyoto

でも、ちょっと待ってください！
間伐をする目的は何でしたか？
「太くてまっすぐの立派な木」を育てること、
でしたね。間伐材を無駄にしないことも
大切ですが、まずは
立派に育った木をいっぱい使ってほしい！

これが木を植えた人たちの
願いではないでしょうか？



@hibana_kyoto

例えばあなたがカレーを作ったとして。

誰もカレーを食べようともせず、

おいしいカレーを作るために、

がんばってむいた人参やじゃがいもの皮を指差し

「皮も残さず食べる方法を考えてちょうだい！

捨てるなんてもったいない！」と言われたら、

どんな気持ちがするでしょうか。

間伐材が注目されることにちょっと似ています。

もったいない！使おう！

誰も見てくれない...



@hibana_kyoto

良い木をたくさんの人に買ってもらえるからこそ
間伐が「仕事」として成り立ち、
その結果として山の環境も整います。

外国産/木安イヨ!



日本の木売れない!

↑木を育てたところで売れない状況の中、

間伐だけがんばって、

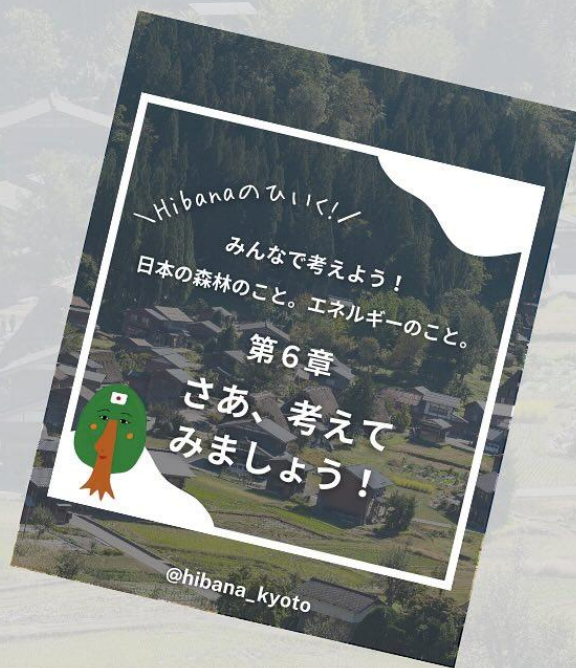
間伐材だけを大切に使うのって、

なんか違うように思いませんか?

@hibana_kyoto

つづきは次回の投稿で！！

次回の投稿を
お楽しみに！



@hibana_kyoto